

銀行をレストランにコンバージョン（用途変更）した  
‘はしり’の建築

---

## 堺筋倶楽部



戦前の近代建築が多く残る北浜から少し離れた堺筋沿い、堺筋本町と長堀橋のちょうど間くらいに建つレストランは、1931年に建てられた銀行建築を2001年にコンバージョンしたもの。今でこそ大阪ではレトロ建築を使ったカフェやレストランがブームのようにになっているが、堺筋倶楽部はかなり早い時期の事例といえる。1階は元営業室の高い天井を活かしたイタリアン、2階と3階は役員室や電話交換室、金庫室といった小部屋をうまく活用したフレンチとなっている。また4階にはバンケットルームもあり、施設全体を使ったウェディングも可能。（高岡伸一）

旧 称：川崎貯蓄銀行大阪支店  
所在地：大阪市中央区南船場 1-15-12  
建設年：1931年  
構造・規模：RC造4階、地下1階  
設 計：川崎貯蓄銀行建築課